

和歌山県教育センター学びの丘 広報誌 まなぶだより



新しい時代を担う若きリーダーを目指して～ミドルリーダー育成研修～

本研修は、「つなぐ、動かす、創造する」というミドルリーダーとして求められる力の育成を目的として、30～40代の教員を対象に実施しています。県内8地方の小・中学校、高等学校及び特別支援学校の各校種から1名ずつ選出された4名で1つのチームを編成し、各地方や所属校における課題解決に向けて、各チームで共通のテーマを設定し、取組を進めています。

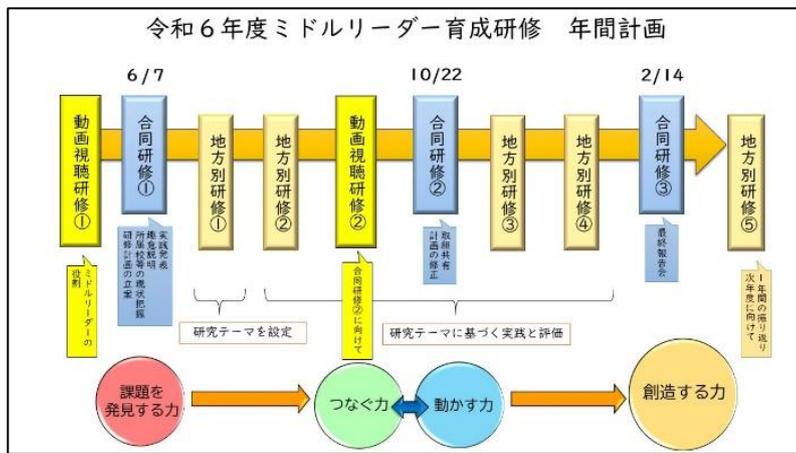


地方別協議をする様子

6月7日に実施した合同研修①午前の部では、昨年度の本研修受講者による実践発表及び1年間の研修概要についての説明を聞き、午後の部では、

地方別研修の日程等について検討しました。受講者は、1年間共に学び合う仲間として交流を深めていました。

アンケートには、「異校種の先生方と研修に取り組むことで、さらに自分が成長できそうな予感がしている。」「自分自身と向き合いながら、先生達と相談し、必要な力を付けたり、補える方法を見つけたりできる研修にしたいと考えている。」等の記述が見られ、受講者同士が関係を深めたり、今後の研修に対する期待や見通しをもったりする機会となりました。



令和6年度ミドルリーダー育成研修年間計画



スキマ時間に新たな学びを～動画研修パッケージ新着コンテンツのお知らせ～

教育センター学びの丘では、自主研修や校内研修に活用できるオンデマンド型のコンテンツ「動画研修パッケージ」を作成しています。教科指導や特別支援教育を始め、マネジメントやコミュニケーションに関するもの等、幅広く掲載しています。

先日、新たに8つのコンテンツをウェブアップしました。時間や場所を問わずに視聴することができるので、今求められている「新たな教職員の学び」の機会として、自己研鑽や学校力向上のためにご活用ください。

きのくにeラーニングコンテンツ		
eラーニング利用の際は、各学校に配付されたログインIDとパスワードが必要です。		
動画研修パッケージ	研修ができる講義とビデオと資料のセット	きのくに学習館.net
ネット指導教材	動画や指導案がセットになった情報モラル教材	チャレンジ確認シート
補充学習用問題	補充学習や家庭学習のための問題等を掲載	評価問題
		県内の研究会情報や資料、指導案等を掲載・共有
		全国学調の問題を大問ごとに整理
		評価問題と集計シートがダウンロードできる

※視聴の際には、各学校に配付しているeラーニングのログインIDとパスワードが必要です。

マネジメント 学校組織におけるミドル・アップダウン・マネジメント 長崎大学教育学部 畑中 大路氏	校内研修の充実 ラーニング・コミュニティについて ①専門的な学習共同体とは ②PLCを具現化する校内研修の企画・運営 ③PLCの具現化とその継続発展を実現する管理職のリーダーシップ 大阪公立大学 島田 希氏	外国語科 学習指導要領の趣旨を踏まえた中学校外国語科の学習指導の改善・充実 大垣市教育委員会・教育総合研究所 山田 誠志氏	対話に基づく受講奨励 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励と人材育成について～マネジメントの視点から～ 広島大学大学院人間社会科学研究科 曾余田 浩史氏
外国語科 中学校外国語科における授業づくりのポイント 和歌山大学教職大学院 植西 仁美氏	特別活動 多様な他者と協働してよりよく生きる力を育む特別活動～これからの時代に求められる資質・能力を育む～ 文部科学省初等中等教育司 清学部 初等教育課 教科調査官 国立教育政策研究所初等課程研究センター 初等教育課調査官 安部 恭子氏	特別支援教育 通常の学級における教育のユニバーサルデザイン 皇佳大学大学院教育実践研究科 阿部 利彦氏	オンデマンド研修 どの教科にも活用することのできる統計的な見方・考え方～深い学びへの誘い～ 実践女子大学人間社会学部 竹内 光悦氏

パソコンはもちろんタブレットやスマートフォンからでも学べます。





初任者研修教職基礎研修～学びのネットワークを築く～

今年度、初任者研修教職基礎研修③において、紀南の部は田辺スポーツパーク、紀北の部は和歌山市立市民体育館を会場に、終日体育館で学ぶ研修を実施しました。

受講者は生徒指導上の諸課題や発達支持的生徒指導について学び、児童生徒の立場になってソーシャルスキルトレーニングを体験しました。こどもの集団にどういった支援が必要なのかを考え、大縄跳びや玉入れなどの団体競技に取り組むことにより、よりよい集団づくりに必要な声かけや指導とはどういったものかを考えました。これらの活動を通して同期の教員とのネットワークを築くことができたようです。このネットワークはこれから先も自分を成長させてくれる糧となります。

発達支持的生徒指導の3つのポイント

- ①特定の課題を意識しない
- ②全ての児童生徒が対象
- ③全ての教育活動で進める

日々の教職員の児童生徒への挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話、及び、授業や行事等を通して個と集団への働きかけを通して、こどもの成長・発達を支えます。



ソーシャルスキルトレーニングの様子

振り返りアンケートでは、「大縄跳びの競技が終了したときに、自然と拍手が起こり、あたたかい雰囲気になる感覚を味わった。授業中、発表してくれた生徒に対して自然と拍手が起こるような学級づくりを目指していきたい。」や「団体競技を行うことで、自然とコミュニケーションや拍手が生まれた。短い時間ではあったが、たくさんの初対面の人とお互いの距離を縮められました。」など研修の効果を実感した記述が多く見られました。



幼児一人一人の芽を引き出し「後伸びする力」を ～令和6年度幼稚園等新規採用教員研修園外研修～



わらべうたの手遊びの様子

今年度の研修第1回目を7月22日に実施しました。園外研修では、幼稚園教諭、保育教諭に必要なスキルを身に付けてもらうため、音楽活動や表現活動、運動遊び等の講義・実習を通し、より実践的・体験的に学んでいます。また、幼児教育の在り方や環境構成等、理論面においても、演習を踏まえながら互いの知識・理解を深めているところです。

所長講義では、保育のプロとして大切にしてほしいことを3つ確認しました。幼児教育本来の専門的な資質・能力を伸ばしながら、日々急速に変化する社会環境の中で求められる能力が

変わっていくことを意識し、学び続ける教員であることの大切さを念頭に置いて、それぞれのキャリア向上に努めていくことが求められています。

今後も幼児一人一人の生涯にわたる学習の基礎「後伸びする力」を培う幼児教育の推進に向け、日々の現状と課題を捉えながら、有識者の講義等を基に、より実践的な研修を実施していきます。



学びの丘の中庭から『夏空』→

保育のプロとして大切にしてほしいこと

- ①専門職として、よりよい教育・保育を目指すこと
- ②こどもや保護者の心に寄り添う教員であること
- ③日々、自身の教育・保育を省察し、学び続ける教員であること

『オススメまなび動画』

「学校で求められる
ストレスマネジメント」
兵庫教育大学大学院
藤原 忠雄 教授
学びの丘動画研修パッケージ



自らのストレス状況を確認し、対処の傾向のポイントについて学び、リラクゼーションを体験することができます。また、児童生徒が抱えるストレスに対する理解や支援に応用できる内容でもあります。

長期休暇のこの時期に、ゆっくり自分自身と向き合う時間を持ち、休み明けに必要なこどもたちへの支援について考えを深めてみてはいかがでしょうか。